

高齢者の健康に関する 意識調査結果

平成25年3月 内閣府政策

統括官（共生社会政策担当）

目 次

第1章 調査の目的及び方法等

1	調査の目的	1
2	調査対象者、調査方法、調査事項等	1
3	調査対象者の基本属性	4
(1)	性別・年齢別構成 (F 1・F 2)	4
(2)	未既婚 (F 3)	4
(3)	同居の有無と相手 (F 4)	4
(4)	現在の仕事 (F 5)	5
(5)	最長職業 (F 6)	5
(6)	子どもの有無 (F 7)	5
(7)	住居形態 (F 8)	6
(8)	1ヶ月の収入 (F 9)	6
(9)	要介護度の状況 (F 10)	6
(10)	配偶者の要介護度の状況 (F 11)	7
(11)	都市規模	7

第2章 調査結果の概要

1	健康状態に関する事項	
(1)	現在の健康状態 (Q 1)	9
(2)	日常生活への影響 (Q 2)	13
(3)	日常活動の状況 (Q 3)	15
(4)	心配ごとや悩みごと (Q 4)	27
2	日常生活に関する事項	
(1)	外出の頻度 (Q 5)	32
(2)	近所づきあいの程度 (Q 6)	35
(3)	親しい友人・仲間の有無 (Q 7)	38
(4)	頼りとする子どもや孫との居住距離 (Q 8)	42
(5)	別居している子どもとの接触頻度 (Q 9 S Q)	45
(6)	家族や親族の中での役割 (Q 10)	48
(7)	参加している活動 (Q 11)	52
(8)	活動に参加しなかった理由 (Q 11 S Q)	56
(9)	生きがい (喜びや楽しみ) の有無 (Q 12)	60
(10)	日常生活についての満足度 (Q 13)	64
(11)	退職希望年齢 (Q 14)	68

(12) 支えられるべきと思う高齢者の年齢（Q15）	72
(13) 社会保障給付と税負担との関係（Q16）	77
(14) ふだんのつきあいが身体的、心理的理由でさまたげられた頻度（Q17）	80
(15) 過去1ヶ月の気分（Q18）	83
(16) 心配ごとや悩みごとの相談相手（Q19）	92
(17) 健康の維持増進のために心がけていること（Q20）	96
(18) 運動習慣（Q21）	101
3 医療に関する事項	
(1) 医療サービスの利用頻度（Q22）	106
(2) 医療サービスに対する不満点（Q23）	110
(3) インフォームド・コンセントに対する認識（Q24）	115
(4) 最期を迎える場所（Q25）	119
(5) 配偶者に最期を迎えてさせたい場所（Q26）	122
(6) 自分についての延命治療に対する考え方（Q27）	125
(7) 家族についての延命治療に対する考え方（Q28）	130
(8) 健康管理に関する行政への期待（Q29）	134
4 福祉に関する事項	
(1) 介護が必要になる不安の有無（Q30）	139
(2) 介護を受けたい場所（Q30 S Q 1）	144
(3) 介護を頼みたい相手（Q30 S Q 2）	150
(4) 配偶者に介護が必要になる不安（Q31 S Q 1）	156
(5) 配偶者に介護を受けさせたい場所（Q31 S Q 2）	160
(6) 介護費用をまかなう方法（Q32）	165
5 食生活に関する事項	
(1) 食事に関して気をついていること（Q33）	168
(2) 食生活について気になること（Q34）	174
(3) 食事における利用サービス（Q35）	179
(4) 食事に関するサービスの利用意向（Q36）	196
(5) 家族との食事の頻度（Q37）	200
6 その他の事項	
(1) 健康情報入手経路（Q38）	203
(2) 認知症になる可能性（Q39）	207
(3) 孤独を感じているか（Q40）	211
(4) 孤独死を身近に感じるか（Q41）	215
(5) 身近に感じる理由（Q41 S Q）	219
(6) 避難所での生活・支援経験（Q42）	222

(7) 避難後の健康維持に必要なこと（Q42S Q）	224
7 高齢者政策や支援に関する事項	
(1) 満足している高齢者政策・支援（Q43）	226
(2) 力を入れてほしい政策・支援（Q44）	230

第3章 集計結果

1 調査票と単純集計結果	237
2 クロス集計結果	251